

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、
内容を理解してからご使用をお願いいたします。また本取扱説明書は大切に保管してください。

Thank you for purchasing our product.

In order to ensure that you receive the maximum enjoyment and safety, read this instruction manual
and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

Kindly keep this manual in a convenient place for quick reference.



完成図

※カーボンキャンピポールは別売りです

UJack公式SNSのご案内

<Twitter> <Instagram> <Youtube>



フォローしてUJackの最新情報をゲットしよう!

UJack 公式ホームページ

UJack |



<https://ujack.co.jp/>



LINE公式アカウント(@ujack)では
新商品やお得な情報を配信中!

警告 - 死亡または重傷などを負う可能性が想定されるものを示します

- ・テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。
火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- ・テントを使用の際には定期的な換気を行ってください。
- ・河原の中州や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- ・台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営、ご使用をしないでください。特に気象庁が定める風速 10m/s (最大瞬間風速を含む) 以上の強風である場合は設営を行わないでください。
テントの破損及び破損した部品による怪我のおそれがあります。
- ・ガス地帯等、天然ガス等が発生する場所で組み立てや設営、ご使用をしないでください。
- ・電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- ・ガス管などが埋設されている場所の近くで設営をしないでください。
- ・使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避してください。
- ・小さなお子様がご使用の場合保護者の方はお子様から目を離さないでください。日中テント内は高温になることがありますので熱中症などには特に気をつけてください。
- ・本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、または異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



注意

- 傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されるものを示します

使用者及び他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に記載する事項を必ずお守りください。

- ・本製品は日よけ、小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設したり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- ・風の強い時はテント、タープを設営しないでください。本体やペグなどが飛ばされて本体が破損したり、人に怪我を負わせるなど、思わぬ事故の原因となります。特に気象庁が定める風速 10m/s(最大瞬間風速を含む)以上の強風である場合は設営を行わないでください。
- ・各部の構成をよく把握し、組み立て順序に従って取り扱ってください。
- ・解体・撤去の際は、組み立ての逆の順序で必ず行い、特に手や指を挟まないようにご注意ください。
- ・組立、設置、解体には安全のために手袋等の防護具を着用してください。
- ・小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。
- ・快適なキャンプのためにも製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- ・必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。(特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。)
- ・小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- ・組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- ・テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- ・石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地したうえで設営してください。
- ・ペグやロープでしっかりと地面に固定してください、また砂地や河原、風が強めの日など付属のペグで固定が不十分な場合は、設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。
- ・説明書に従いすべての張り網を確実に固定した状態でご使用ください。
- ・焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかるおそれのある場所では使用しないでください。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。

収納保管について

- ・使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- ・汚れを落とす場合は固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- ・高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ・本体や収納袋は洗濯しないでください。
- ・幼児や小さなお子様の手が届かないところに保管してください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度(湿度)が高くなった場合に起こりやすく、定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

一部シームシーリング剤による目止めについて

防水加工は施されていますが製品の構造上、雨量によって縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布しなおしてください。

グラウンドシートの併用について

テントの汚れや傷、雨水の浸水などを防ぐためにもグラウンドシート(テントの下に敷くシート)の併用をおすすめします。グラウンドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

お問い合わせ先情報

製造者名：株式会社 UJack

郵便番号：283-0005

住所：千葉県東金市田間 2216-1

連絡先：info@ujack.co.jp

対応時間：10:00 ~ 17:00(土日祝日を除く)

製品には万全を期しておりますが万一なにかございましたらお気軽にお問い合わせください

内容品について

キャンプへご出発前に必ず内容品を確認しておいてください。(設営には別途ペグ及びペグハンマーが必要です)



- ・フライシート
- ・インナーシート
- ・C型メインフレーム
- ・背面用カーボンポール ×2
- ・ストームロープ 1.5m×4
- ・ストームロープ 2m×4
- ・ストームロープ 3m×2
- ・収納袋(本体・ポール・ペグ/ロープ 各1)

*ペグは付属しておりません。設営の為最低14本程度、予備も含めて20本程をご用意ください。
*ペグハンマーは付属しません。
※本仕様及び付属品数量は予告なく変更となる場合がございます。

設営方法 - 1人で設営可能です

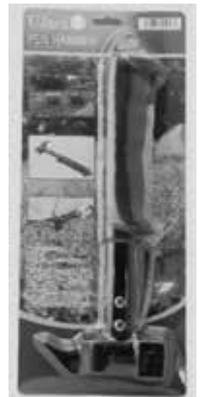
1 設営前の確認

・セット内容の確認をして不足や破損、異常がないかを確認します。気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定しましょう。(地面に落ちている小枝や小石などをきれいに除去し専用グランドシートの設営を推奨)

・設営には別途ペグ及びペグハンマーをご準備ください。(ペグはUJackトリステーク、ペグハンマーはペグハンマーVHHがおすすめです)



▲UJackトリステーク



▲UJackペグハンマーVHH

2 フライシートの展開

① 本体フライシートを広げます。ロゴがある方が前方になりますので向きを考慮してください。

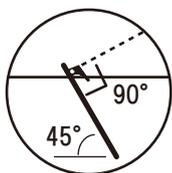
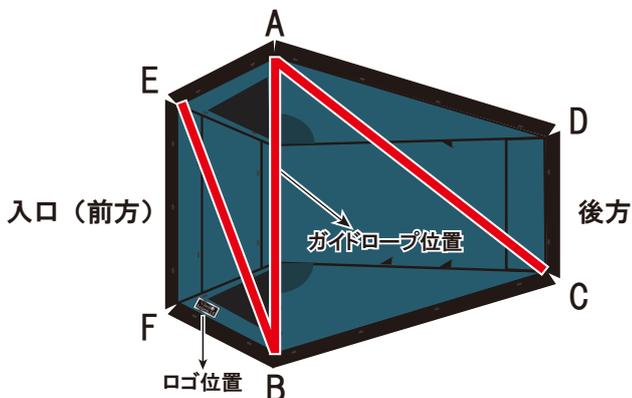
② A-B,A-C,E-B 間にはガイドロープ(黒色のベルト)がありますので、こちらを接続した状態で基準位置を決めます。(下図)

③はじめにAをペグで固定し、同様にB→C→D→E→Fの順でペグ打ちします。A-B,A-C,E-B間のガイドロープは完全に伸びた状態でペグ打ちすることがキレイに設営するポイントです。

*ガイドロープを外した状態で設営を行うと入口が閉まらなかったりインナーシートのフックが届かなくなることがあります。

*C,Dにペグ打ちする際にハトメやD管には打ち込まないでください。

*風が吹いている場合は風上に入口を向けないでください。



ペグはロープの向きに対して垂直(90度)になるように打ち込みます。地面に対してペグ本体がおおよそ45度の角度が適当です



A・Bはリングにペグ打ち

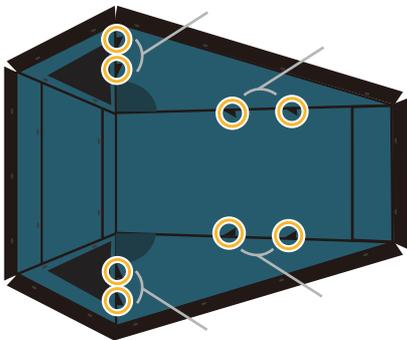
C・Dはベルトループにペグ打ち

E・Fは大きめのベルトループにペグ打ち

3 本体の立ち上げ

- ① フライシートの各ストームロープフック（全 8 箇所）（図1）にストームロープ 2m の自在が付いていない紐をテント本体にもやい結びで取り付けます。（図2）
*なおこの作業は出発前点検時に行っておくと現地での作業がよりスムーズになるのでおすすめです。
- ② C型メインフレームをそれぞれの関節を奥までしっかりと差し込んで組み立て、テントトップの黒いスリーブにC型メインフレームをフレームのコーナー部分を越えるまで押しながら通していきます。（図3）
*ポールは必ず押しながら通してください。内部でポールが外れるとテントの破れやポールが破損します。
- ③ メインフレームの片側をアシストクリップに接続します。（図4）接続した後メインフレームをを起こしてテントを立ち上がらせ、フライシートトップのスリーブがメインフレームの上部にかかっている事を確認してください。（図5）スリーブがメインフレームのカーブ部分にかかっているとフライシートが破れたり、フレームが折れてしまう原因となります。
- ④ メインフレームのもう片側をアシストクリップに接続します。メインフレームは設営後テントに張りを持たせる為、フライシートより長めに設計されています。その為、フレームをたわませるようにしてアシストクリップに接続してください。（図6）接続が完了した際にメインフレームが弓なりにしなった状態になるのが正常です。（図7）
- ⑤ フライシートのポールクリップ（全 8 箇所）をメインフレームに固定します。（図8）

図1



ストームロープ 1 本を 2 箇所の
ストームロープフックに結びつけます。

図2



ストームロープの結び方 - もやい結び

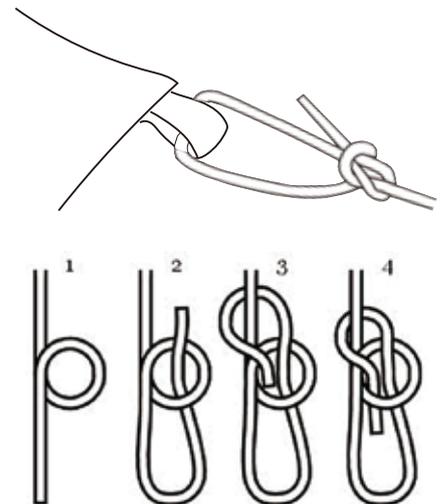


図3



図4



図5



図6



図7



図8



4 後方ベンチレーション部分の軒の立ち上げ

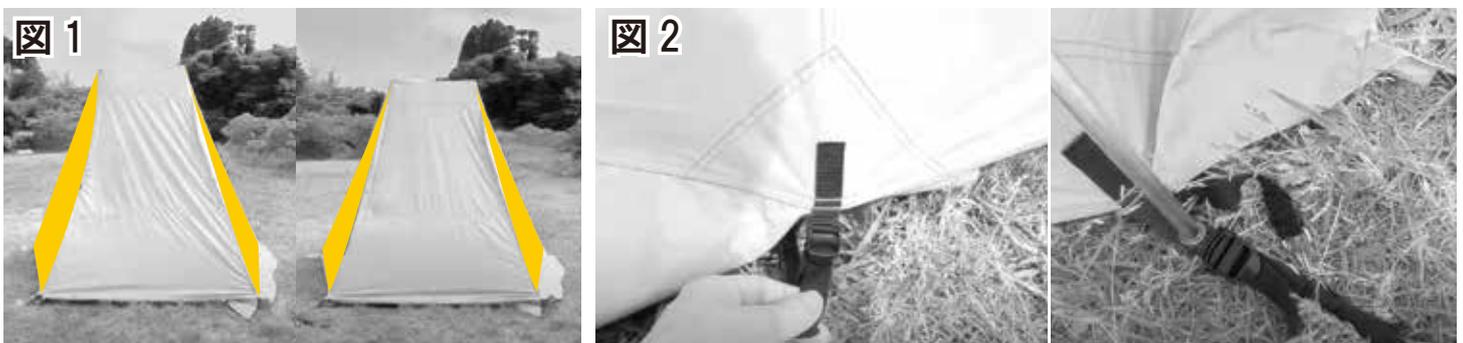
背面用カーボンポールにて後方ベンチレーション部分の軒を立ち上げます。

- ① 軒両端部分（全4箇所）にストームロープ 1.5m を結びます。（図1）
- ② 背面用カーボンポールを軒部分のハトメに通して立てます。（図2）差し込みづらい場合はフライシートのコンプレッションベルトを緩めると差し込みやすくなります。
- ③ 軒部分のストームロープを後方斜め 45 度に引っ張ってペグダウンします。（図3）軒先端側と本体側のストームロープはまとめてペグダウンして問題ありません。高い耐風性能を求める場合や軒の角度を調節したい場合は別々にペグダウンを行ってください。
- ④ ストームロープの自在を調節し、フライシートに張りを持たせてください。



5 フライシート位置の微調整

- ① フライシートの立ち上げを行ったあと、フォルムが歪んでいることがあります。真正面または真裏から見たときにサイド部分が左右対称でない場合にはペグを抜き差しして位置の調整を行います。（図1）
 - ② フライシートに張りが足りずに弛む部分が発生する場合にはペグ打ち完了後に各部の調整ベルトを使用してフライシートの張りの調節を行います。（図2）
- また、テンションを掛けることで調整ベルトに付属している金具の位置が本体に近づきます。したがってインナーシートを設営するためある程度テンションを掛けた状態で保持する必要があります。



悪い例
真正面または真裏から見たときに左右対称ではない

良い例
真正面または真裏から見たときに左右対称

6 グランドシート（別売り）、インナーシート、インナーマット（別売り）の展開

必要に応じてグランドシート（別売）、付属のインナーシート、インナーマット（別売）を使用します。

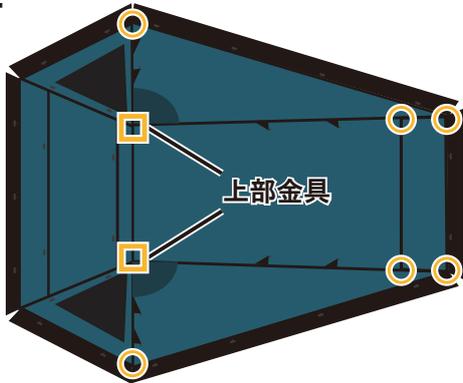
- ① グランドシート（別売）のシームテープがついている面を上側に向けて（図1）インナーシート接地部分に敷きます。基本的に敷くだけで問題ありませんが、固定したい場合はグランドシートの四隅にあるゴムをペグダウンしてください。



② インナーシートは後方ベンチレーション部分の立ち上がりがあるので、立ち上がり部分のフックから固定してください。吊り下げ式となりますので下部はベンチレーション上段部分も含め6箇所、上部2箇所の合計8箇所をフライシート内側の各部に設けられた金具に固定してください。(図2)

③ インナーマット(別売)をインナーシートの中に敷いてください。

図2



7 ストームロープ(張り網)の使い方と設置方法

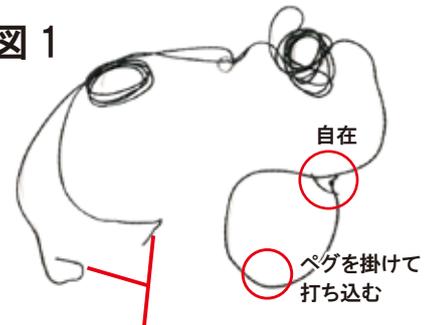
*本体の風対策に使用されるロープは全部で4本です。ストームロープを正しい手順ですべて設置することで最大限の風や雨に対する耐性が得られます。設営時点で風が吹いていなくても天候は突然変わることがありますので、確実にすべてのロープを設置することを推奨します。

① 工程3で紹介した通り、ロープは本体フックに”もやい結び”で固定しておきます。また付属の自在とペグを使用して地面に設置していきます。図1を参照して構造を確認してください。

② テント前方に取り付けたストームロープは真横へ、テント後方に取り付けたストームロープは10~15度程度後方へ設置されます。この時ロープのペグ打ちはすべて緩めに行っておくのがポイントです。(図2)

③ すべてのペグ打ちが完了したら最後に自在を調整してフライシートに張りを与えます。ただし、ここでも必要以上にテンションを掛けすぎるとポールの折れやシートの破れに繋がりますので、本書の完成図を参考に調整してください。

図1



それぞれのストームロープフック、またはキャンピーポールトップに結ぶ



8 カーボンキャンピポール(別売り)で入口の設置

入口部分を立ち上げてご使用になる場合は別売りのカーボンキャンピポールが必要になります。

① カーボンキャンピーポールを入口先端にあるポール受け(金属の輪)に差し込み入口を立ち上げます。

② カーボンキャンピーポールの軸にストームロープを結び、正面から向かって斜め45度外側へそれぞれ1本ずつペグ打ちしてください。(図1)

*ポールは入口と同じ高さではありませんので内側へ斜めになるように少しポールを倒して設置してください。

*ロープの張りを必要以上に強くしてしまうとシートの破れの原因となりますので適度なテンションで設営を行うようにしてください。(ほんの少しだけ入り口の天井部分が弛むくらいのテンションが適当です。)

③ 入口はジッパーで開閉することでサイドパネル付きで使用することが出来ます。不要な場合はジッパーを開いてさらに巻き上げてください、天井自体も巻き上げが可能ですので入口を完全に取っ払って使用することもできます。



9 完成と撤去

各部の張り具合をチェックします。もしフレームが歪むほど張りが強い場合はストームロープを調整する、もしくはフライシートのペグ位置やテンションベルトを調整するなどして加減してください。

つまづき転倒の原因となる為、設営時に目印で使用したガイドロープは取り外し、テント内の収納袋へしまってください。(図1) また、必要に応じて上部ベンチレーションウィンドウを展開してください。(図2)*雨天時はクローズのまま使用しても構いません。状況に応じて以下のような様々なフォルムを使い分けてご使用ください。

撤去方法はインナーシートから撤去していき、設営とは逆の手順で行います。

メインフレームを抜く際は押して抜いてください。メインフレームを畳む際は真ん中から分解していくとテンションコードの負荷を避けられます。



10 上手な収納の仕方

本製品の生地で使用しているシルナイロン素材は大変滑りが良い生地となっており、折りたたんで収納するのが難しい商品となっております。そのため、生地を収納ケースに押し込んでいただくのがスムーズです。

- ① ポールを収納ケースにしまう
- ② インナーシートを収納ケースに押し込んでしまう
- ③ フライシートトップの黒いスリーブから収納ケースに押し込んでしまう

* 他の部分から押し込むと空気がシート内に溜まってしまい上手く収納が出来なくなります。

* 必ずテントが完全に乾いた状態で収納してください。濡れた状態で収納すると加水分解が起こり、耐水性が損なわれます。



＼動画でも設営・収納方法をご確認いただけます／

動画でも解説を行っておりますので、詳しくは Youtube 動画マニュアルを御覧ください。

UJack channel ▶ <https://www.youtube.com/c/UJackchannel>



▲詳しい説明はこちらから！